

# 未来に向かって、自ら羽ばたく北っ子！

## ～考え動く 人とつながる 未来を創る～

昨年に引き続き今年も梅雨明けが早く、7月は暑さとの戦いになりました。今日で1学期が終わります。9月1日、子ども達の元気な笑顔で2学期がスタートできますよう、よろしくお願いします。

### 子ども達の安全ネットワーク

#### その1 心のケア

子どもたちの安全を守る第一の柱は、目に見えない「心のケア」です。6月、7月は一学期の疲れが溜まりやすく、登校時のトラブルなどが増えやすい、子どもたちの「心」が非常に揺れ動く時期だと言われています。ご家庭や地域の皆様のご支援のおかげで、北っ子達はこの時期を無事越えることができました。子ども達の「ちょっとした変化」や、言葉の端々に見える「からかい」といった小さなサインを見逃さないことが、大きな問題を防ぐ入り口となります。夏休み中も、「さちよの良さ(地域のつながり)」という大きな輪で、子ども達を見守っていただきますよう宜しくお願いします。



1年生が6年生にタブレットの設定を手伝ってもらいました。

#### その2 自然の中で自己判断力を！

第二の柱は、大人がいない場でも自分の命を守れる「判断力」を育てることです。夏休み中は子ども達だけで過ごす機会も増えるのではないかと思います。予測の難しい気候の中で、以下のポイントを子ども達にも伝えていきます。ぜひご家庭でもお話しください。

- ・雷：よく誤解されがちですが、「家の軒下」は決して安全ではありません。黒い雲、冷たい風、遠くの雷といった変化に気づいたら、すぐに頑丈な建物の中へ避難しましょう。
- ・熱中症：単に「外に出ない」という制限だけでなく、活動中に自ら日陰を選んで休んだり、こまめに水分を補給したりといった、自分の体調を管理する工夫を身につけていきましょう。
- ・川遊び：危険だからと遠ざけるだけではなく、「何が危険か」を正しく理解することが大切です。自治振興会が計画してくださる「川遊び」も自然との正しい付き合い方を学ぶよい機会だと思います。

#### その3 スマホ・ゲームの時間はルールを決めて！

長時間のゲームやスマホ使用は、睡眠や健康に影響します。1学期も、休日明けに体調を崩す児童がいました。ご家庭でも利用時間の確認をお願いします。

### 「何気ない日常」という最高の贈り物

今の子どもたちは、人生の最も小さく大切な時期に「コロナ禍」という「災害」とも呼べるほどの制限された生活を余儀なくされてきました。当たり前が当たり前でなかった日々を乗り越えてきた子どもたちです。夏休みはいつもよりゆったりとした時間が過ごせる期間。特別なイベントだけではなく、家庭で囲む食卓や、何気ない会話といった「日常のふれあい」も大切にしていきたい、それこそが、未来へ向かう活力を養う「心の根っこ」につながっていくと思います。



3年生が花壇に花苗を植えました。大きくなあれ！